

あなたを見る。  
未来を見る。

**KDDI**

*Ubiquitous Solution Company*



代表取締役社長兼会長

小野寺 正

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととおよこび申し上げます。

第25期上半期（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の事業内容等をご報告するにあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

当上半期の損益状況につきましては、営業収益は1,747,333百万円（前年同期比0.8%増）、営業利益は262,881百万円（前年同期比5.3%増）、経常利益は262,230百万円（前年同期比3.9%増）、四半期純利益は151,117百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

これにより、中間配当金につきましては、前年同期より500円増配の1株当たり5,500円とさせていただきます。

当上半期の経済の状況は、米国のサブプライム問題に端を発した世界の金融市場の混乱は依然として歯止めがかからず、雇用や消費など実体経済へとその影響が波及しつつあります。

わが国においても、輸出の減少や資源価格の高止まりによるコストの上昇などにより、企業収益の悪化が懸念され、また、設備投資は減少傾向を見せ、消費マインドも減退気味となるなど、国内景気が後退局面に入ったことが明らかとなってきております。

さて、電気通信業界では、移动通信市場において、通信料と端末価格を分離させた料金プランが各社で導入され、端末価格が値上げされたことにより、端末販売台数が大幅に減少する一方、低廉な料金サービスの提供、多種・多様な携帯電話端末、音楽・映像などのコンテンツサービスの提供等によりお客様獲得に向けた競争が一段と激しさを増しております。

また、固定通信市場におけるブロードバンドサービスなどの展開に加え、固定通信と移动通信の融合、あるいは通信と放送の連携が進展しつつあり、事業環境が急速に変化していく中で、サービス競争が新たな局面を迎えております。

このような情勢のもと、KDDIグループといたしましては、中期的目標として策定した「チャレンジ2010」のもと、「量的拡大」と「質的向上」の両立により持続的成長を図るとともに、全てのステークホルダーの皆様への満足度を高めるTCS（トータル・カスタマー・サティスファクション）活動を一層推進することにより、企業価値の更なる向上、ブランド力の強化に努め、あらゆるサービスにおけるお客様満足度No.1を目指し「新たな価値創造」にチャレンジしてまいります。

なお、株券の電子化に伴う端株制度の廃止につきましては、本年10月1日をもって完了いたしました。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。